

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第6区分

【発行日】平成27年1月22日(2015.1.22)

【公開番号】特開2013-119393(P2013-119393A)

【公開日】平成25年6月17日(2013.6.17)

【年通号数】公開・登録公報2013-031

【出願番号】特願2011-266469(P2011-266469)

【国際特許分類】

B 6 5 B 51/10 (2006.01)

【F I】

B 6 5 B 51/10 M

B 6 5 B 51/10 B

【手続補正書】

【提出日】平成26年11月27日(2014.11.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

一対のスライド軸の各一端部に、取付ベースを介して加熱バーが相対向して取り付けられ、前記一対のスライド軸の各他端部を回動リンクの各端部にそれぞれ軸支し、回動する前記回動リンクにより前記相対向する加熱バーが接近・離間して包装袋の袋口を加熱して袋口内面に付着した水滴を加熱蒸発させるヒート加熱機構を備え、

駆動モータの回転運動を揺動運動に変換するベルクランクと、前記ベルクランクの揺動運動を前記回動リンクに伝達する上下ロッドとを有し、回動リンクの各端部に軸支した前記一対のスライド軸を相反する方向へ出退して前記加熱バーを近接・離間させる駆動機構を備え、

前記駆動機構のベルクランクの軸受けの中心点から、上下ロッドが軸支するベルクランクの後端部の連結軸の中心点間のベルクランクの揺動寸法を調整するストローク調整手段を備えたことを特徴とする袋口加熱装置。

【請求項2】

前記ストローク調整手段は、ベルクランクの後端部に穿設された長孔に前記連結軸が摺動可能に挿通され、前記連結軸に上下ロッドが連結し、前記連結軸にスクリューロッドが螺合し、スクリューロッドの回転により、前記連結軸をベルクランクの長手方向にスライドする請求項1に記載の袋口加熱装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

本発明の袋口加熱装置は、一対のスライド軸の各一端部に、取付ベースを介して加熱バーが相対向して取り付けられ、前記一対のスライド軸の各他端部を回動リンクの各端部にそれぞれ軸支し、回動する前記回動リンクにより前記相対向する加熱バーが接近・離間して包装袋の袋口を加熱して袋口内面に付着した水滴を加熱蒸発させるヒート加熱機構を備え、駆動モータの回転運動を揺動運動に変換するベルクランクと、前記ベルクランクの揺動

運動を前記回動リンクに伝達する上下ロッドとを有し、回動リンクの各端部に軸支した前記一对のスライド軸を相反する方向へ出退して前記加熱バーを近接・離間させる駆動装置を備え、前記駆動機構のベルクランクの軸受けの中心点から、上下ロッドが軸支する後端部の連結軸の中心点間のベルクランクの揺動寸法を調整するストローク調整手段を備えたことを特徴とする。